

2025年ハイライト

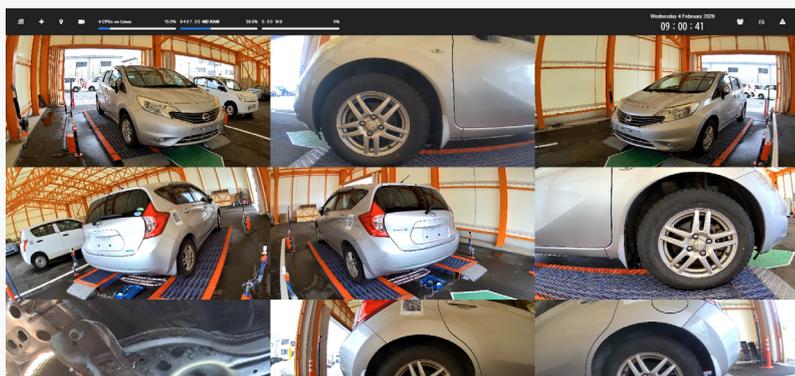
銅線ナゲット機の稼働開始

2025年6月より、自社で発生する使用済み自動車(ELV)由来のハーネス(銅線)を分別する為の湿式ナゲットプラントを設置、稼働が始まりました。このプラントは、配線の樹脂部分と銅線、コネクタの端子を分別する事ができ、適切に処理・販売が出来る仕組みを後押しするものです。途上国にハーネスが輸出され、価値の高い銅だけを得るために野焼きをして分別(ダイオキシンや酸性雨の発生を助長)される事が問題視されていますが、技術のある国でしっかり分別する事がその予防にも繋がり、環境負荷の低減にも貢献できます。



車両一括撮影システムの構築

海外顧客へ中古自動車部品を販売するには、「ePartsWorld」への画像登録が必要になります。入庫の多い時期は、1か月に1,000台以上の車両を1台1台輸出部門のスタッフが総出で撮影しており、工数が課題になっていました。そこで工数削減の仕組み構築を行うために、2025年より社内プロジェクト「写真バズP」としてスタート。2026年1月より稼働が開始され、写真撮影に係る工数を大幅に削減する事が出来ました。また、既存の一括撮影設備を導入するコストの約1/10以下で導入ができ、今後同業他社への展開も行なっていく予定です。



液処理スラストカッターの改良

使用済み自動車(ELV)を処理するうえでの廃液回収において、特にガソリンの飛散が課題になっていました。廃液回収時に、ガソリンが少しでも飛散すると引火や身体に付着した場合には健康被害のリスクも生じます。既存で使用している市販のガソリン回収機具に、地元大学と共同開発した治具を取り付ける事によって、ガソリンの飛散を解消する事が出来ました。



ナイジェリア政府とのMoU締結:自動車リサイクル構築支援

2026年、当社はナイジェリアにおいて自動車リサイクル事業の事業化可能性調査および技術研修を実施する予定です。2025年には、ナイジェリア国家自動車設計開発評議会(NADDC)代表団が当社を訪問し、循環型リサイクル技術や工場運営について協議を行いました。協議の成果として、同国初となる環境配慮型ELVリサイクル工場設立に向けた基本合意書を締結。今後は調査、設計、人材育成を段階的に支援していくことを目指します。



EXPO 2025 大阪・関西万博への出展

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)において、UNIDO東京事務所様の企画の一環として、金沢工業大学との産学連携により開発した自動車リサイクルVRゲームを展示しました。本コンテンツでは、車両の調達から部品の生産・販売、雇用創出までの流れをVRで体験でき、自動車リサイクルの仕組みと価値を直感的に伝える内容としました。出展期間(2025年9月23日~29日)中、ブース全体で約8,000名が来場しました。初日にはトークセッションにも登壇し、当社のミッションを発信しました。



会宝産業株式会社

〒 920-0209 石川県金沢市東蚊爪町1丁目25番地

☎ 076-237-5133

🌐 <https://kaihosangyo.jp/>

